



糸東小だより

やさしく かしく たくましく

6月号 No.3

令和4年6月24日

校長 岩月高峰



糸魚川東小 本格始動！



運動会が無事終わり、翌24日(火)からは、**金管練習**を本格的に始めました。今までは動きのみ(マーチング)の練習でしたが、この日からは、楽器を吹き始めました。やはり楽器の音が聞こえてくると気持ちも盛り上がります。金管練習が始まると子どもたちは、自主練習を希望します。素晴らしいことです。準備や後片付けや消毒を徹底し、休み時間の練習も盛んに行っています。



また、25日(水)には、6年生対象の**租税教室**が開かれました。今年初めて iPad を活用しましたが、子どもたちにとって、操作はお手の物で、税金による建物を手際よく分けていました。税務署は東小の近くということで、毎年たくさんの方がおいでくださいます。今年も、教育長や税務署長など多くの方が来れましたが、みんな6年生の学習態度を褒めてくださいました。きちんと整列し、しっかり聞ける6年生、素晴らしいです。



30日(月)には、**530(ゴミゼロ)プロジェクト**を4年生以上で行いました。学校の敷地内や通学路に落ちているゴミを集めたり、雑草をとったり石を片づけたりする活動でした。これを機会に環境問題に関心を持ち、自分のできることを実践してほしいと思います。



このように通常の教育活動の中で育っていく子どもたちを見ていると、当たり前のように感謝の気持ちが湧いてきます。これからも引き続き状況に応じた感染対策をしながら、教育活動を進めていきたいと思っています。

朝のベルマーク回収

ある朝、ふれあい広場で総務委員会の子らが整然とベルマーク回収作業をしていました。あまりに手際がいいので、「番号と場所を覚えているのですか」と聞くと、「はい、だいたい」という返事。子どもたちの力はすごいと改めて感じました。同時に日常のさりげない活動の様子を見て、とてもうれしく思いました。



令和4年6月7日(火) 全校集会での校長の話 (趣旨を変えずに一部省略しています)

今日のお話は、「正しく伝える」という話です。お話の前に一つ問題です。私は、みなさんと挨拶するときになるべくするようにしていることがあります。それはどんなことでしょうか。正解は、「手を振ること」です。では、なぜ手を振るようにしているのか。それが今日の話で、相手に自分の気持ちを「正しく伝える」ためです。説明します。

私は、こんな😊(笑顔マーク)気持ちでいつも挨拶をしています。でも、気持ちはこうでも、この顔にこのメガネです。しかもこのメガネは、日光を浴びると黒いサングラスのようになります。黒っぽいスーツを着ていると、「不審者だ」とか「ハンターだ」と言われることがあります。また、自分では、こんな笑顔のつもりなのに、「顔が怖い。」と言われたこともありました。⇒ 伝わったのはこんな😡(怒り顔マーク)気持ちだったのです。だから考えました。言葉だけで「おはよう」とか「こんにちは」とか「さようなら」と言っても気持ちが伝わらず、間違っても怖さや怒りが伝わってしまうことがないように、言葉だけでなく手を振るようにしているのです。

例えば、車の運転中の時とか、遠くにみんなを見つけた時とか、道路のこっちと向こうの時とか、声も届かないし、表情も見えませんか。そんな時にも手を振れば、いい気持ちが伝わります。それも素晴らしい挨拶だと考えています。

挨拶には、いろいろな方法があります。もちろん、「元気な声」のできる時は、それが一番です。大きい声が出せない時は、相手を見て、ニコッと笑いながらなら小さい声でも、ちゃんと伝わります。ニコッとですよ。ほかに、会釈という方法もあります。東小には会釈と気遣いが素晴らしい人がたくさんいます。私が、教室をのぞいて、手を振った時、「授業中だから、手を振っちゃいけない」と考えたのでしょうかね。手を振っている校長先生を見て、軽く会釈してくれる人や小さく手を振り返してくれる人がたくさんいました。「校長先生に返さなきゃ」という優しい気持ちと「授業中だから大きく手は振れない」という考えで、このような配慮になったのだと思います。ほんとに心優しい配慮です。もし、そのことで怒られたら、言ってください。校長先生も謝ります。

最後に、東小に来て、印象に残った場面をいくつか紹介します。

- ① 4月の初め頃、学校の帰り、農協の食彩館のところで信号待ちをしていたら、車の横を歩いていた人が挨拶してくれました。まだ東小へきて間もないのにもう気付いてくれたことがとてもうれしかった。
- ② 時々みんなの登校の様子を見たくて、いろいろな道を通ります。ある横断歩道で止まると、小学生が通り、最後の上級生がちゃんとお辞儀をしてくれました。これだけでも十分立派なのですが、そのあと、校長先生だということに気付いて、もう一回今度は笑顔で会釈してくれたのです。うれしかった。(学校だよりでも紹介しました。)
- ③ 野球の練習でランニングをしていたみんなに手を振ったら、元気に振り返ってくれて、掛け声ももっと大きく元気になって楽しそうにランニングしていました。うれしかった。

4月に防犯パトロール員さんや地域の方に「あいさつがあまりよくない」と聞きました。でも、実際は正しく伝わってなかっただけだと思います。マスクをしているから声も聞こえにくいのでしょうか。これからは、今日の話を意識して気持ちが正しく伝わるような挨拶を心がけてみましょう。

まがたまクラブがスタート

6月2日(木)に発会式と第1回目の活動を行いました。東小学校では、4年生以上の児童がその道のプロに指導していただきます。とても恵まれたことです。発会式では、子どもたちに、①その活動自体を楽しむこと ②指導者や友達との関わりを楽しむことの2つについて話しました。



プール清掃をありがとう

6月3日(金)には、5・6年生がプール清掃を行いました。5年生が5限に6年生が6限に一生懸命プールをきれいにしてくれました。今年も週1回で全3回程度の実施となります。本来なら、十分な回数を確保し、会話やふれあいを楽しみながらのプールにしたいところですが、もうしばらくは我慢が必要かと考えます。感染対策を講じ、安全で安心な水泳指導を行います。よろしくお願いいたします。



ようこそ先輩！ 太鼓コンサート

6月6日(月)には、東小の卒業生である松本悠斗さんらによる「見て・聞いて・感じる」TAIKO コンサートを5・6年生が鑑賞しました。生の太鼓の迫力はもちろん、ピアノや篠笛の音色にも圧倒されました。やはりプロの技は違います。本物を体感できた素晴らしい機会でした。



自然体験教室終了

6月9日(木)～10日(金)に、妙高青少年自然の家で実施することができました。5年生全員が参加して様々な体験活動を行いました。妙高アドベンチャー(写真右上)では、丸太から落ちないように指示された順番に並び替わるミッションを班で協力してクリアしました。キャンプファイヤー(写真左下)では、隙間時間に練習(写真左上)したスタンツ発表で楽しみました。貴重な2日間でした。



糸中校区の小小交流会

6月14日(火)に糸中校区5校の小学6年生が糸魚川小学校に集まって、交流しました。講師には、立山少年自然の家から熊木勝先生にお越しいただきました。新聞紙タワーづくり活動などで積極的に声を出して他校の児童と関わる姿が頼もしかったです。



5年生のスタンプ発表会

5年生が自然体験活動のキャンプファイヤーでやったスタンプを他の学年の人にもぜひ見てもらいたいということで行いました。16日(木)の昼休みにプレイルームで行うことを事前に呼びかけると、予想よりもたくさんの方が見に来てくれました。5年生のおかげで、「スタンプ」ってどんなものかを知る機会となりました。また、たくさんの方が楽しく、温かい時間を過ごすことができました。



- | | | | | |
|--------|---------------------------------------|--------|--------|------------------------|
| 1日(金) | 朝清掃 分散学習参観 笛吹っ子健康づくり委員会 学年懇談 PTA 執行部会 | | | |
| 4日(月) | 通学団総会 | | | |
| 5日(火) | 1年国語テスト | | | |
| 7日(木) | 6年生修学旅行 ~8日(金) | | | |
| 11日(月) | PTA 教養部主催コンサート | | | |
| 12日(火) | 代表委員会② 体育課外 | | | |
| 14日(木) | クラブ③ | | | |
| 15日(金) | 本の返却完了 体育課外 | | | |
| 19日(火) | 琴平神社祭礼中止 | | | |
| 22日(金) | 1学期終業式 | | | |
| 25日(月) | 27日(水) | 28日(木) | 29日(金) | …夏休み中の金管課外(8:30~10:00) |
| 30日(土) | …おまんた祭り参加(6年生) | | | |

7月の予定



放課後、グラウンドで遊んでいる子どもたちがいたので、見ていました。すると、男の子が走ってきて「俺の弟がケガしたので、絆創膏を2つ貸してください。」と言うので、あげました。翌朝、廊下でその子が「昨日は絆創膏をありがとうございました。」と言ってきました。感激しました。(#. #) いいね!

子どもたちは黙食給食にもすっかりと慣れ、静かに食べています。この10分余りの時間を有効活用しようと、地域の方に寄贈いただいた「昔話 CD」を流すことにしました。第1弾は「一寸法師」。終わった後、数人に感想を聞くと、「面白かった」「話し方で吹き出しそうになった」「一寸法師を知らなかった」などの感想がありました。